

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **うどんこ病**の発生はやや少ないです。
- ・ **灰色かび病**の発生ほ場率は平年並ですが、先月に比べ増加しています。
- ・ **ハダニ類** 及び**アブラムシ類** の発生は平年並です。
- ・ **アザミウマ類** の発生はやや少ないです。

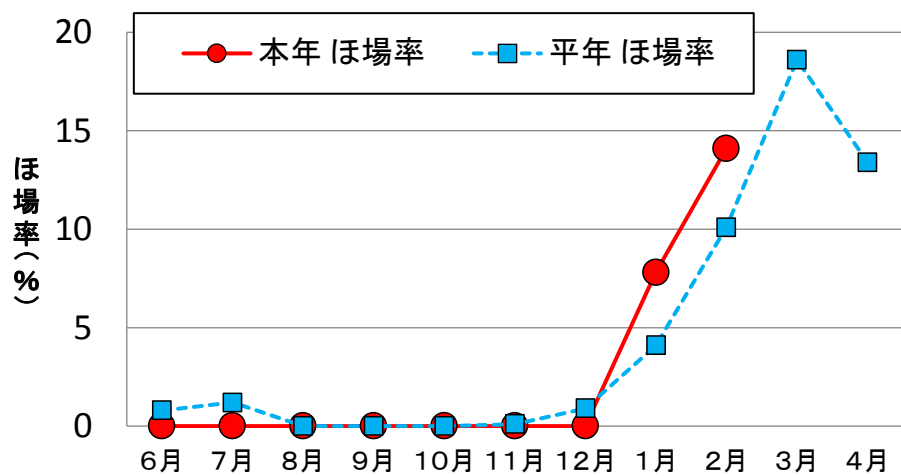


図1 灰色かび病発生ほ場率

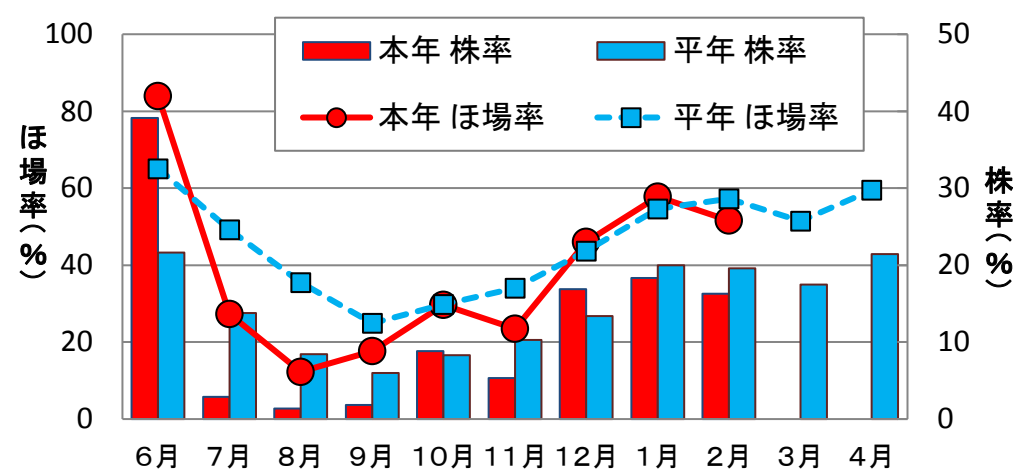


図2 ハダニ類発生ほ場率・株率

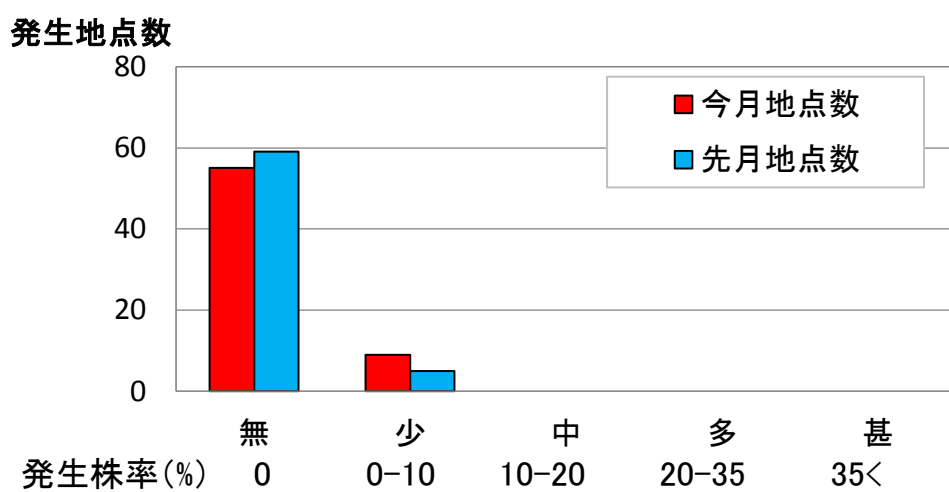


図3 灰色かび病発生程度別の地点数

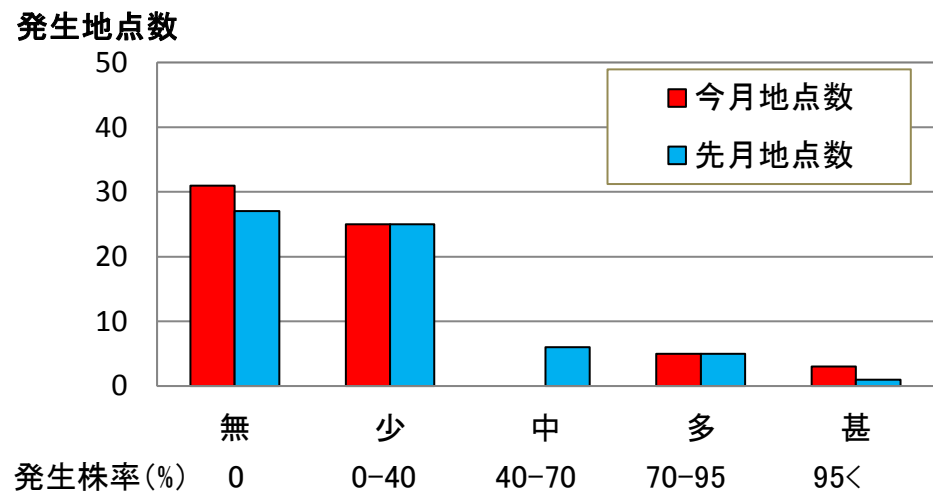


図4 ハダニ類発生程度別の地点数

○今月の技術情報（技術指導班）○（2月）

- ・ 現在、ハダニ類の発生は平年並ですが、一部では多発ほ場も見られます。また、アザミウマ類の発生はやや少ないですが、今後、活動が活発になり、増加する時期を迎えますので、株及び花をよく観察し、早期発見を心がけ、適切な対処により被害の軽減に努めて下さい。
- ・ 病害については、平年並～やや少ない傾向ですが、降雪により、ハウスの湿度が高くなったことで灰色かび病が散見されます。
- ・ 向こう1か月の天候の見通しは、日照時間は平年並か少なく、降水量は平年並か多い見込みとなり、気温は引き続き低い予報が出ています。ハウス内の適正な温湿度管理により、病害の発生しにくい環境づくりに努めましょう。
- ・ これからの時期は、日射も強まるため、温度の上昇による果実の傷みなど、品質低下にも注意が必要です。換気方法を工夫するなど品質重視の管理に心がけましょう。



写真1 灰色かび病



写真2 花に寄生するヒラズハナアザミウマ